

第 1 3 期

事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 3 1 日



地 域 と 共 に 、 み ら い を 育 む パ ー ト ナ ー

ぐんまみらい信用組合



ごあいさつ

向暑の候、組合員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、ぐんまみらい信用組合第13期（令和6年度）事業概況と決算の結果をご報告申し上げます。

1. 金融経済環境

令和6年度の国内経済は、コロナ禍の影響から脱した後、緩やかな回復基調を取り戻しました。企業収益は過去最高を更新し、設備投資も活発となるなど、企業部門は全体として好調さを維持しています。また、人手不足感の高まりの中、完全失業率が低位で推移し、春季労使交渉での賃上げ率が33年ぶりの高水準となりました。その一方で、名目賃金や所得の伸びが物価上昇に未だ追いついていないことから、個人消費は力強さを欠いた状態が続き、景気の回復は弱い状態が続いております。

当組合の主要な取引先であります中小規模事業者においては、円安やコスト増加を背景とした物価上昇や人手不足等が深刻化・慢性化する中で、適正な価格転換を通じて、収益力を安定的に確保することや、生産性向上に繋がる省力化対策など依然と難しい経営環境が続いています。

当組合においても、貸出金残高が減少し貸出金利についても極めて低い水準で推移しており、収益環境は依然として厳しい状況です。

2. 第13期決算概況

第13期（令和6年度）は、第5期経営強化計画（令和6年度～令和8年度）の初年度につき、同計画に掲げる以下の諸施策等の実現に向け、役職員一丸となって取り組みました。

- ①営業推進態勢の強化による貸出の増強
 - ・営業推進態勢の強化（営業推進3部会制の継続、融資特化型営業の定着）
 - ・Area Power有効利用の確立（効率的な営業推進の実現、システム化による事務処理の軽減）
- ②人材育成と積極的な女性職員活用
 - ・女性融資担当者の育成（女性職員の活躍による組織力の強化）
 - ・若手職員の育成（OJT研修による融資営業力の強化）
- ③経営効率化への対応
 - ・店舗政策の見直し（店舗統廃合の実施）
 - ・戦略的な人員配置（少数精鋭での人員体制の構築、営業店内務業務の省力化による営業職への転換）
 - ・事務の効率化（営業店窓口業務の負担軽減）
- ④信用コスト削減のための取組強化
 - ・審査・管理態勢の継続的な取組強化
 - ・事業再生支援への取組を通じた不良債権化の防止（外部機関との連携強化）
 - ・職員の目利き力及び再生スキルの向上（内部研修や外部専門家による研修の実施）

この結果、預金積金残高については、法人預金は融資実行した資金等の歩留まりにより前年度から増加の推移となりましたが、個人預金は金融資産運用の多様化と店舗政策における合理化・効率化を進めたことから定期性預金は減少し全体で7,239百万円の減少となりました。貸出金残高については、プロパー資金による迅速な資金繰り対応をおこなうための経営サポート資金などの増加を図ることができましたが、ゼロゼロ融資の返済や地方公共団体向けの償還等もあり1,099百万円の減少となりました。

損益については、マイナス金利政策の解除以降の段階的な政策金利の引き上げの影響により、貸出金利息などの収益は増加。一方、預金利息も増加しましたが、引続き経費支出の見直しを行ったことから、本業による収益力を示す「コア業務純益」につきましては、前期比61百万円増加の793百万円となりました。しかしながら、中小規模事業者の経営環境の厳しさから信用コストが増加し、当期純利益は前期比289百万円減少の126百万円となりました。なお、普通出資金の配当原資を確保するまでには至らず見送りとさせていただきます。

経営強化計画を完全履行し、業績回復ならびに復配に向け邁進する所存ですので何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

3. 事業の展望及び当組合が対処すべき課題

今後の国内情勢は、賃金・物価の上昇や金利・為替の変動等が見込まれ、企業収益・事業を巡る環境は従来よりも変化の激しい局面が想定されます。今後も、当組合の主要な取引先である中小規模事業者を取り巻く環境は依然と厳しく、人手不足への対応、事業承継問題、更にはエネルギー・資源価格の高騰等、多くの課題を抱えています。

迎える第14期（令和7年度）において、当組合は第5期経営強化計画の2年目となり、諸施策に引き続き全力で取り組むことにより経営態勢を強化し、地域の皆様のご期待に総力をあげて応え、地域経済の再生・活性化に資する地域密着型金融を推し進め、資金繰り支援はもちろんのこと、売上回復に向けた事業改善へのサポートや情報提供を行うなど、取引先に寄り添い、課題解決を図る伴走支援に取り組む所存であります。

組合員の皆様に於かれましては、なお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月
ぐんまみらい信用組合
理事長 八高 武

第13期貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
現 金	7,126,524	預 金 積 金	277,422,868
預 け 金	87,660,622	当 座 預 金	2,812,982
買 入 金 銭 債 権	20	普 通 預 金	155,464,003
有 価 証 券	39,799,353	貯 蓄 預 金	823,784
国 債	8,691,444	通 知 預 金	171,498
地 方 債	4,589,736	定 期 預 金	109,992,148
社 債	24,695,790	定 期 積 金	7,177,403
株 式	154,335	そ の 他 の 預 金	981,047
そ の 他 の 証 券	1,668,048	そ の 他 負 債	823,823
貸 出 金	159,747,068	未 決 済 為 替 借	89,855
割 引 手 形	794,869	未 払 費 用	123,937
手 形 貸 付	10,350,923	給 付 補 填 備 金	1,851
証 書 貸 付	143,520,113	未 払 法 人 税 等	10,442
当 座 貸 越	5,081,160	前 受 収 益	75,442
そ の 他 資 産	2,316,908	払 戻 未 済 金	116,037
未 決 済 為 替 貸	26,015	職 員 預 り 金	191,512
全 信 組 連 出 資 金	1,507,000	リ ー ス 債 務	47,583
前 払 費 用	17,370	そ の 他 の 負 債	167,161
未 収 収 益	325,580	賞 与 引 当 金	114,726
そ の 他 の 資 産	440,942	退 職 給 付 引 当 金	96,262
有 形 固 定 資 産	3,205,735	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	1,300
建 物	790,096	偶 発 損 失 引 当 金	137,216
土 地	1,909,043	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	79,706
リ ー ス 資 産	43,260	債 務 保 証	19,565
建 設 仮 勘 定	253,540	負 債 の 部 合 計	278,695,467
その他の有形固定資産	209,794	(純 資 産 の 部)	
無 形 固 定 資 産	45,298	出 資 金	22,011,623
ソ フ ト ウ ェ ア	29,719	普 通 出 資 金	5,761,623
その他の無形固定資産	15,578	優 先 出 資 金	16,250,000
債 務 保 証 見 返	19,565	利 益 剰 余 金	△4,171,646
貸 倒 引 当 金	△4,858,054	利 益 準 備 金	11,278
(うち個別貸倒引当金)	(△4,335,492)	そ の 他 利 益 剰 余 金	△4,182,925
		当 期 未 処 理 損 失 金	4,182,925
		組 合 員 勘 定 合 計	17,839,976
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△1,503,106
		土 地 再 評 価 差 額 金	30,703
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△1,472,402
		純 資 産 の 部 合 計	16,367,573
資 産 の 部 合 計	295,063,041	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	295,063,041

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

第13期損益計算書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

(単位：千円)

科 目					金 額
経常収入	益				3,746,925
資金運用収入	益				3,448,346
貸出金利	息				2,835,833
預け金利	息				245,090
有価証券利息	配当金				318,182
その他の受入利息	息				49,239
役務取引等収入	益				254,838
受入為替手数料	料				85,752
その他の役務収入	益				169,085
その他の業務収入	益				14,057
その他の業務収入	益				14,057
その他の経常収入	益				29,682
償却債権取立	益				120
株式等売却	益				3
その他の経常収入	益				29,559
経常費用					3,648,681
資金調達費用					136,258
預金金利	息				134,387
給付補填金繰入	額				922
その他の支払利息	息				947
役務取引等費用					259,858
支払為替手数料	料				33,708
その他の役務費用	費用				226,150
その他の業務費用	費用				96,284
国債等債券売却損					95,571
その他の業務費用	費用				713
経費					2,526,864
人件費					1,386,694
物件費					1,016,940
税	金				123,230
その他の経常費用	費用				629,415
貸倒引当金繰入	額				90,406
貸出金償却					478,607
その他の経常費用	費用				60,401
経常利益	益				98,244
特別利益	益				73,004
固定資産処分益					73,004
特別損失					34,477
固定資産処分損失					33,643
減損損失					834
税引前当期純利益	益				136,770
法人税、住民税及び事業税					10,446
法人税等合計					10,446
当期純利益	益				126,324
繰越金（当期首残高）					△4,309,249
当期末処理損失金					4,182,925

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

損失金処理計算書

第13期 [令和6年4月1日から
令和7年3月31日まで]

I 当期末処理損失金

当 期 未 処 理 損 失 金 4,182,925,288 円

これを次のとおり処理いたします。

損 失 処 理 額 0 円

II 繰越金（当期末残高） △4,182,925,288 円

会計監査人による監査

当組合は、協同組合による金融事業に関する法律第5条の8第3項に規定する「特定信用組合」に該当しておりますので、本計算書類につきましては、会計監査人である「翠星監査法人」の監査を受けており、適正と認められております。

役員一覧（令和7年6月1日現在）

理 事 長	八 高 武
常務理事	多 胡 忠浩
常勤理事	宮 澤 環
常勤理事	高 坂 学
理 事	岡 田 和夫
理 事	金 井 雅春
理 事	金 子 正元
理 事	布 施 光一
常勤監事	高 橋 茂信
監 事	松 島 孝三
監 事	中 井 英明